



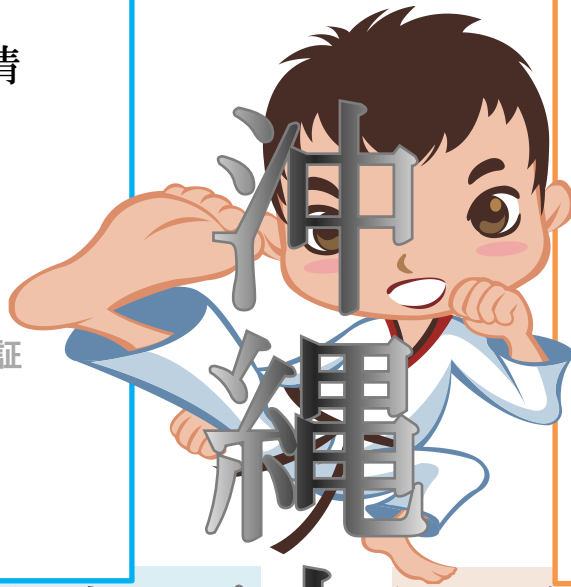
うちな〜むん

空手発祥の地、沖縄

琉球王国時代に沖縄で誕生した空手は現在世界中で親しまれています。
今回は、そんな「沖縄空手」に関する資料を紹介。

沖縄 新垣清 空手道 の歴史

琉球王国時代の武の検証



武士猿 今野 敏

『沖縄空手道の歴史』

新垣 清著 原書房

請求記号:K789 7 所蔵館:中央・石川

現代空手家でもある筆者が、沖縄空手の発祥と変遷の歴史をたどり、琉球王国時代の武の検証をする。現在の空手普及に貢献した人物達の紹介は必見です。

『武士猿フサーザールー』

今野 敏著 集英社

請求記号:913.6 所蔵館:中央

廃藩置県後の沖縄。本部朝基は王族の身ながら掛け試しの実戦を行い、「本部の猿」という名は沖縄で知らぬ者がいないまでになった。ある日、京都で柔道対ボクシングの興行試合に飛び入り参戦し、相手の外国人ボクサーを一撃で倒す。このとき朝基は52歳。本土でも武名は瞬間に広がり…。

伝説の空手家・本部朝基。その波乱の生涯をもとに描いた小説です。

沖縄空手

公開！

沖縄空手

の真実

『公開！沖縄空手の真実』

フル・コム編 東邦出版

請求記号:K789 所蔵館:石川

沖縄から本土、世界に広まっていったなかで、本来武術であった空手は「スポーツ」へと次第に変わっていきました。沖縄空手の三大流派の達人たちを相手に、空手の真実に迫ります。付録のDVDでは型と鍛錬を収録。

